

FTHST01
KD02010-L229-02

ベッドサイド・モニター

取扱説明書

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。

本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

 警告 <small>一般的注意</small>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意 <small>一般的注意</small>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

警告 一般的注意

ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

警告 一般的注意

製品を改造しない

本製品を修理・分解・改造しないで下さい。

本製品の内部は、電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

警告 一般的注意

カバーを開けない

感電防止のため、保守員以外の方はカバーを開けないで下さい。

保守については、資格のある保守者に依頼してください。

警告 一般的注意

運搬の時は電源プラグをコンセントから抜く

感電及び火災の原因となりますので、周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



警告

故障状態で使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いて、修理を販売元まで依頼してください。



警告

本製品に異物を入れない、液体をかけない

本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に異物を落とした場合や液体をこぼした場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、販売元にご連絡ください。



警告

雷が鳴り出したら電源プラグやアンテナ線に触れない

感電の原因となります。



警告

液晶パネルが破損した場合、破損部分に触れない

もし、触れてしまった場合には手をよく洗ってください。万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目を良く洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売元に連絡する

そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。



注意

落雷について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。



警告

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



警告

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部が高温になり、火災や故障の原因となります。



注意

本製品のパネル部分を鋭利な刃物やとがった物などでこすったり押ししたりしない

故障の原因となります。



注意

モニターやアームに物をぶら下げない

モニターやアームに物を取り付けたり、ぶら下げたりしないで下さい。傾いたり外れたりして、事故やけがの原因となることがあります。

免責事項について

- 地震、雷、火事、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失)などに関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らない事により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報処理技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用環境は、温度：5 ～ 35 、湿度：20% ～ 80%RH です。保存環境は、温度：-10 ～ 60 、湿度：20% ～ 80%RH です。使用時、保存時共に結露無き事。

著作権

本書に記載されている内容は、予告無く変更される場合があります。

本装置の製造業者は、本マニュアルに記載された内容の技術上編集上の誤りまたは脱落に対する責任を負わないものとします。また、備品、動作、または本マニュアルの使用によって生じた偶然または必然の損害に対しても責任を負わないものとします。

本マニュアルの内容は、著作権によって保護されています。本製品の製造業者からの事前の書面による同意がない限り、いかなる形式でもこのマニュアルの一部または全部をコピーまたは転載することは禁じられています。

本マニュアルに記載されているソフトウェアは、使用許諾契約および非開示契約のもとで添付されています。それらのソフトウェアの使用またはコピーは、必ず契約事項にしたがって行われなければなりません。

本マニュアルに記載されている各製品名は、各社の商標または登録商標です。

注意

一般的注意

本製品には、同梱された AC アダプタと電源コードをご使用ください。また、同梱されている AC アダプタと電源コードは、他の製品には使用しないでください。

目次

CHAPTER1 各部の名称と働き..... 1

本体.....	2
システム構成.....	2
液晶ディスプレイ(LCD).....	2
タッチパネル.....	2
スピーカー.....	2
本体前面.....	3
本体背面下部.....	3
リモコン.....	4
ACアダプタ.....	5

CHAPTER2 ベッドサイド・モニターの使用法..... 7

電源を接続する.....	7
ベッドサイド・モニターを起動する.....	7
電源の入れ方.....	7
リモコンによる操作.....	7
リモコンによる操作.....	8
TV / ビデオモード時の操作.....	8
パソコンモード時の操作.....	8

CHAPTER3 OSD の設定..... 9

OSD 設定画面の呼び出し.....	9
OSD の操作方法.....	11
OSD の各項目について.....	12
TV/ビデオの設定.....	12
パソコンの設定項目.....	14

CHAPTER4 タッチパネルの設定.....17

タッチパネルドライバのインストール.....	17
タッチパネルのドライバのアンインストール.....	19
タッチパネルドライバについて.....	20
キャリブレーション.....	20
マウス操作.....	22
機能設定.....	23
A:動作設定画面起動.....	23
B:デバイス.....	24
C:ハードウェア.....	26
D:動作設定.....	27
E:詳細設定.....	28
F:イベント.....	29
G:一般.....	30
H:ダブルクリック.....	31
I:キャリブレーション.....	32
J:状態.....	33
K:イベントセレクト.....	34

CHAPTER5 お手入れ.....35

CHAPTER6 トラブルシューティング.....36

こんなときは.....	36
-------------	----

付録.....37

仕様.....	37
対応解像度及びリフレッシュレートについて.....	38
お問い合わせ先.....	39

CHAPTER1 各部の名称と働き

ベッドサイド・モニター（以下、本モニターと示します）の使用を開始する前に、操作ボタン、インジケータ、コネクタ、およびポートの位置と機能について簡単に説明します。

本体



システム構成

本モニターは、以下のシステムで構成されています。

液晶ディスプレイ(LCD)

本モニターの液晶ディスプレイは、15インチ XGA カラー液晶ディスプレイ(LCD)です。

タッチパネル

本モニターの画面はタッチパネル方式ですので、画面を指でタッチすることでマウスと同様の操作が可能です。

ただし、タッチパネルはパソコンが接続されている場合のみ使用できます。

また、TV / ビデオモードの場合にはタッチパネルは使用できません。

タッチパネルを使用するにはパソコンにタッチパネルドライバをインストールする必要があります。

スピーカー

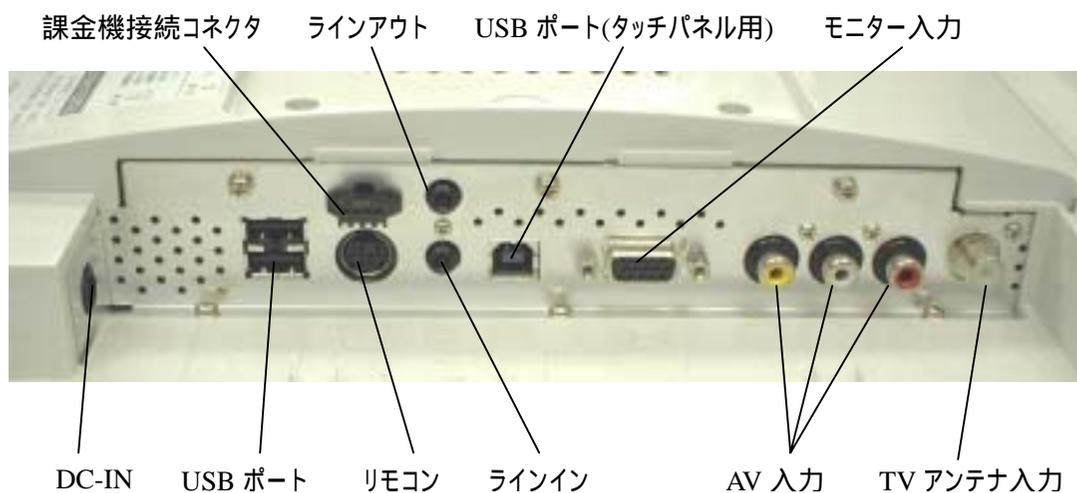
リモコン内蔵スピーカー / 外部スピーカーにより構成されています。

本体前面

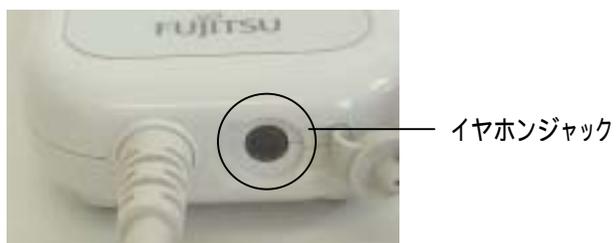
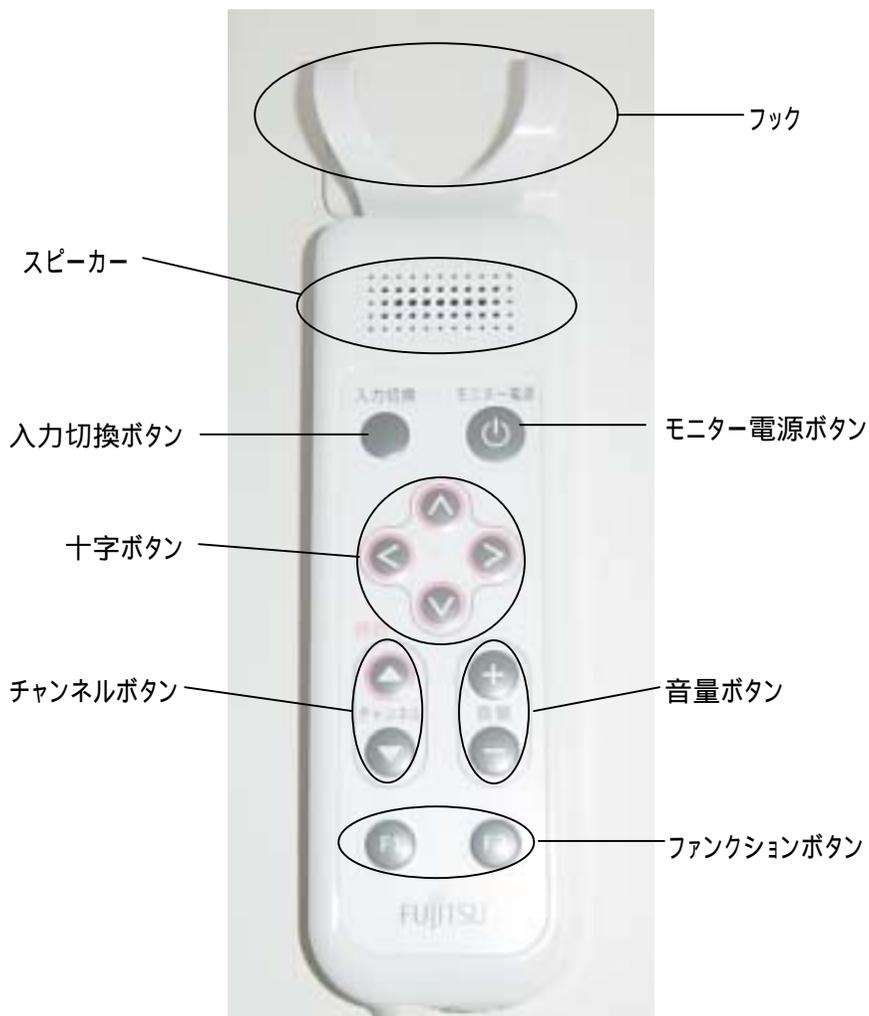


- ・モニター電源 : 本体の電源の ON/OFF を行います。電源 ON 時にはボタンの周辺が緑に点灯します。
- ・入力切換 : 本体への入力を切換えます。入力は TV/ビデオ/パソコンの 3 種類あります。
- ・パソコン : 周辺機器としてパソコンを接続している場合に点灯します。点灯色によるパソコンの状態は次のとおりです。
 - 緑 : パソコンの電源が ON になっている状態です。
 - 橙 : パソコンがスタンバイ状態になっています。
 - 無点灯 : パソコンが接続されていない、もしくは電源 OFF になっている状態です。

本体背面下部



リモコン

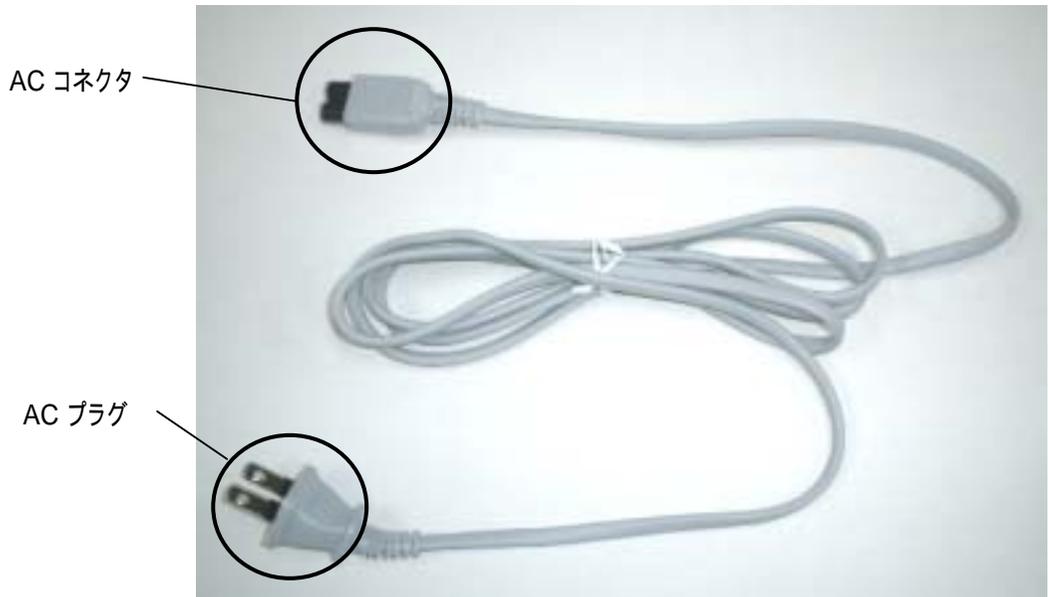


AC アダプタ

・ AC アダプタ



・ 電源コード



CHAPTER2 ベッドサイド・モニターの使用法

本モニターを初めてご使用になる場合について説明します。

電源を接続する

本モニターは、AC アダプタより電源が供給されている状態で動作します。AC アダプタは電源自動検出型なので、AC100V、周波数 50Hz～60Hz の電源が使用できます。AC アダプタは本モニター本体に添付されています。

電源の接続方法

1. AC アダプタと電源コードを接続します。
2. 本体右側面下部の DC-IN ポートに、DC プラグを接続します。
3. コンセントに、AC プラグを差し込みます。

ベッドサイド・モニターを起動する

本モニターに付属の AC アダプターを接続します。

電源の入れ方

本体前面右下部にある、『モニター電源』ボタンを押してください。
電源投入後は TV が表示されます。

本体の『モニター電源』ボタンを押す以外に、リモコンの『モニター電源』ボタンでも同様に電源の ON/OFF が可能です。



リモコンによる操作

本モニターの基本操作はリモコンで行います。

TV / ビデオモード時の操作

ボタン	機能	備考
モニター電源ボタン	モニターの電源を ON / OFF します。	
入力切換ボタン	入力切り替えを行います。押す毎に「ビデオ」「パソコン」「TV」の順に切り替わります。	「ビデオ」が無効になっている場合は、「パソコン」「TV」が交互に切り替わります。
ボタン	チャンネルを変更します。	
+ - ボタン	音量を変更します。	
F1,F2,カーソル() ボタン	使用できません。	

パソコンモード時の操作

ボタン	機能	備考
モニター電源ボタン	モニターの電源を ON / OFF します。	
入力切換ボタン	入力切換を行います。押す毎に「ビデオ」「パソコン」「TV」の順に切り替わります。	「ビデオ」が無効になっている場合は、「パソコン」「TV」が交互に切り替わります。
カーソル() ボタン	マウスカーソルを動かします。	
(選択) ボタン	マウスの左クリックとしての動作をします。	
+ - ボタン	音量を変更します。	
F1,F2	キーボードの Shift+F11, Shift+F12 の動作をします。	
ボタン	使用できません。	

CHAPTER3 OSD の設定

本モニター OSD 設定(オンスクリーンディスプレイ)について説明します。

本モニターの OSD 設定は、出荷時に最適な状態に設定されております。その為、通常は設定値を変更する必要はありません。

注意

OSD 設定の変更は、十分な知識をお持ちの方以外は実施しないことをお勧めいたします。OSD 設定を変更したことにより起因するいかなるトラブルについても、弊社では一切の保証をいたしかねます。あらかじめ御了承ください。

OSD 設定画面の呼び出し

リモコンを操作することにより、OSD 設定画面を呼び出します。OSD の操作はリモコンを使用して行います。

OSD 設定画面の呼び出しは、以下の手順となります。

1. 本モニターの電源を入れます。
2. 入力切替ボタンで OSD 設定を行いたいモードに設定します。(TV/ビデオ/パソコンモード毎に、設定が分かれています。)
3. リモコンの十字ボタンの『』を押しながら、『入力切替』ボタンを押すと、OSD 設定画面が表示されます。

十字ボタンの『』を押し
たままにする。
入力切替を押す。



・TV/ビデオモードでの OSD 設定画面

T V / ビデオの設定		V	1	10
ビデオ			無効	
チャンネル設定	▶			
チャンネル表示			自動	
コントラスト			50	
明るさ		1	00	
画質			標準	
色調			50	
色合い			50	
サウンド調整 低音			50	
サウンド調整 高音			50	
音声出力			主のみ	
LINE OUT			OFF	
<終了>				
* バンド選択		UHF / VHF		
* ビデオ課金グループ			0	
↑↓ : カーソル移動		+- : 変更	選択 : 決定	

・チャンネル設定画面

T V / ビデオの設定		チャンネル設定			1 / 5	
▲	No.	* 選局	* 表示	* 有 / 無	微調整	* 課金
	1	1	1		0	0
	2			無効		
	3	3	3		0	0
	4	4	4		0	0
	5			無効		
	6	6	6		0	0
	7			無効		
	8	8	8		0	0
	9			無効		
	10	10	10		0	0
	11			無効		
	12	12	12		0	0
	13			無効		
	14			無効		
▼					<戻る>	
↑↓ : カーソル移動		+- : 変更		選択 : 決定		

OSD の操作方法

OSD の基本的な操作方法を説明します。
OSD の操作はリモコンを使用して行います。

ボタン	機能	備考
十字ボタン (の各矢印ボタン)	メニュー選択項目の移動	選択された項目は、黄色く表示されます。
十字ボタン (の各矢印ボタン)	使用できません。	
(選択)ボタン	選択された項目を開く、または決定する。	
ボタン	使用できません。	
+ - ボタン	数値の増減。	選択した項目において、数値の増減などを行います。
入力切替ボタン	矢印ボタンの と同時に押すことで OSD を起動します。	OSD 起動中は使用できません。
モニター電源ボタン	モニターの電源を ON / OFF する。	OSD 起動中に電源を OFF にした場合、OSD は強制的に終了されます。このとき OSD の設定は起動前の状態に戻されます。
F1,F2 ボタン	使用できません。	

OSD の各項目について

OSD のそれぞれの項目について説明します。

TV/ビデオの設定

項目	説明	デフォルト値
ビデオ	有効/無効を選択できます。無効にした場合、ビデオモードが使用できなくなります。 ビデオモードの場合は変更できません。	“有効”
チャンネル設定	各チャンネルの受信状態を微調整します。「 」(選択)ボタンで微調整用画面に切換えした後、微調整を行いたいチャンネルにカーソルを合わせた後、「+」「-」ボタンで数値を調整して、チャンネルの受信状態を調整してください。	10 頁 チャンネル設定画面参照
チャンネル表示	「自動」「常時表示」「常時消去」が選択できます。「+」「-」ボタンで選択できます。 「自動」を選択するとチャンネル変更等をした場合にチャンネルが表示され 5 秒後に表示が消えます。 「常時表示」を選択すると常に右上にチャンネルが表示されます。 「常時消去」を選択するとチャンネル表示はされません。	“自動”
コントラスト	コントラストの調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“10”
明るさ	明るさの調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“80”
画質	画質を「シャープ」「標準」「ソフト」の 3 種類の中から選択することができます。	“標準”
色調	色調の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“80”
色合い	色合いの調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“50”
サウンド調整 低音	低音の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“50”
サウンド調整 高音	高音の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は 10 単位で 0～100 の間で変更できます。	“50”
音声出力	音声の出力方法を「主のみ」「副のみ」「主/副同時」の 3 種類から選択できます。	“主のみ”
LINE OUT	外部出力装置(スピーカー等)から音声を出すかどうかを選択できます。	“ON”

項目	説明	デフォルト値
終了	<p>終了を選択すると次の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定に戻す ・ 現在の設定を保存 ・ OSD を終了する <p>「初期設定に戻す」を選択し、「はい」を選択すると、工場出荷状態に戻されます。</p> <p>「現在の設定を保存」を選択し、「はい」を選択すると、現在の OSD 設定を保存することができます。</p> <p>「OSD を終了する」を選択し「はい」を選択すると、OSD を終了します。</p> <p>設定の保存をせずに「OSD を終了する」を選択し、OSD を終了させた場合、その前に行った OSD 設定の変更が反映されません。OSD 設定を変更した場合は必ず「現在の設定を保存」を選択し、設定の保存を行ってから OSD を終了してください。</p>	なし

OSD 設定画面内で * マークが付いている項目は変更できません。

パソコンの設定項目

項目	説明	デフォルト値
同期調整 自動	パソコンの表示信号との同期を自動で調整します。	なし
同期調整 微調整	パソコンの表示信号との同期を手動で調整します。 位相 分周比	“位相:50” “分周比:50”
明るさ	明るさの調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“80”
色温度	色温度の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は USER,9300K,8500K,7000K,6500K,5000K が選択できます。 また、USER を選んで「 」(選択) ボタンを押すと任意設定画面が開き、100K~9900K の中から調節する事が出来ます。任意で設定する場合「+」「-」ボタンにより100単位で色温度の設定を行えます。	“8500K”
RGB 赤	RGB 赤の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“50”
RGB 緑	RGB 緑の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“50”
RGB 青	RGB 青の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“50”
表示位置 上下	画面の表示位置を調整します。	“50”
表示位置 左右	画面の表示位置を調整します。	“50”
サウンド調整・低音	低音の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“50”
サウンド調整・高音	高音の調整が行えます。「+」「-」ボタンで調節します。 数値は10単位で0~100の間で変更できます。	“50”
LINE OUT	スピーカーの ON/OFF が選択できます。	“ON”

項目	説明	デフォルト値
終了	<p>終了を選択すると次の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定に戻す ・ 現在の設定を保存 ・ OSD を終了する <p>「初期設定に戻す」を選択し、「はい」を選択すると、工場出荷状態に戻されます。</p> <p>「現在の設定を保存」を選択し、「はい」を選択すると、現在の OSD 設定を保存することができます。</p> <p>「OSD を終了する」を選択し「はい」を選択すると、OSD を終了します。</p> <p>設定の保存をせずに「OSD を終了する」を選択し、OSD を終了させた場合、その前に行った OSD 設定の変更が反映されません。OSD 設定を変更した場合は必ず「現在の設定を保存」を選択し、設定の保存を行ってから OSD を終了してください。</p>	なし

OSD 設定画面内で * マークが付いている項目は変更できません。

CHAPTER4 タッチパネルの設定

本モニターのタッチパネルの設定方法について説明します。
タッチパネルは PC モード時のみ有効です。

タッチパネルドライバのインストール

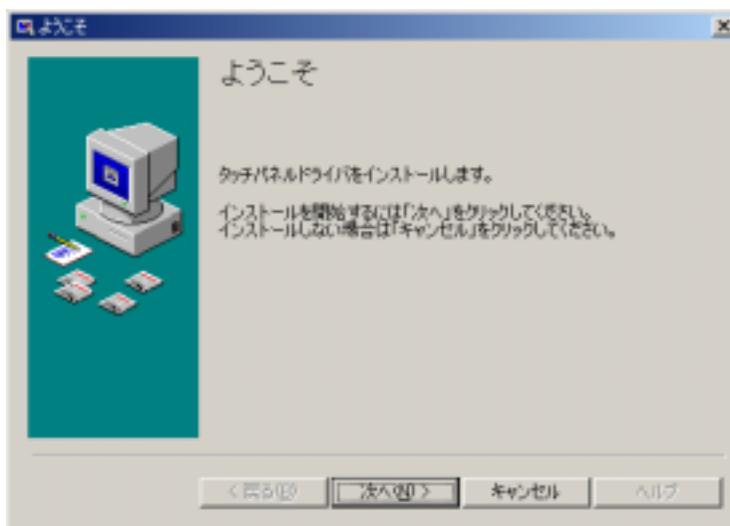
本モニターでタッチパネルを使用するには、接続したパソコンにドライバをインストールする必要があります。

インストールは以下の手順で行います。
タッチパネルドライバは Microsoft®Windows®XP 専用です。

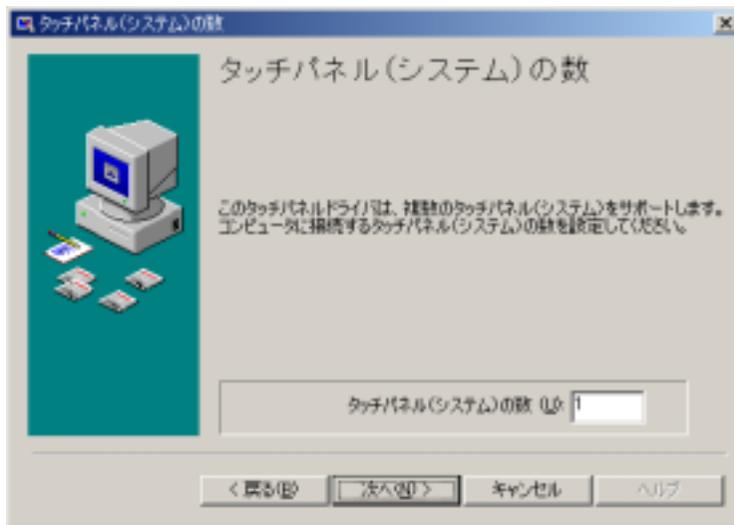
タッチパネルドライバの入手方法およびご不明な点につきましては、弊社ホームページの「お問い合わせ」よりご質問ください。

<http://www.frontech.fujitsu.com/>

- ドライバの「Setup.exe」を実行すると、次のような画面が表示されます。以後、指示に従って「次へ (N)」を選択してください。



- タッチパネルの接続数は「1」と設定してください。タッチパネルの数の設定が終わったら「次へ(N)」をクリックしてください。



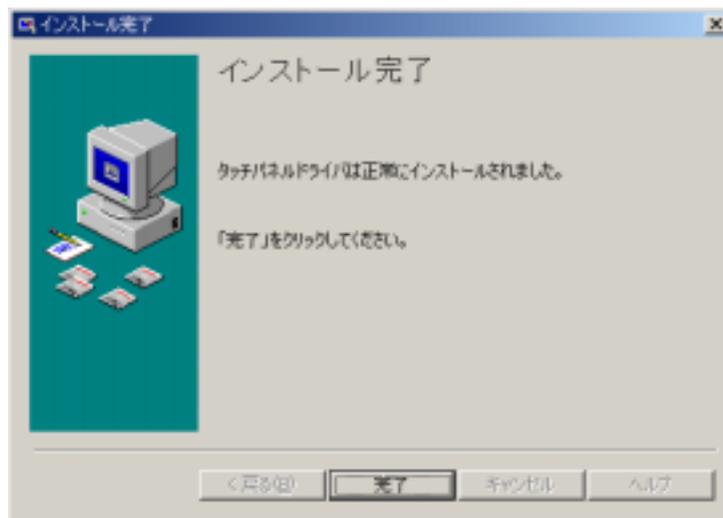
- 使用するコントローラーを選択します。
[DMC TSC-10 Series, USB]を選択し、「次へ(N)」を選択してください。



- インストール準備完了と表示されますので、画面の指示に従い「次へ(N)」を選択してください。



- インストール終了です。「完了」を選択してください。



タッチパネルのドライバのアンインストール

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」を実行し「タッチパネルドライバ」選択後「追加と削除(R)」をクリックします。
2. アンインストーラ起動後、アンインストーラの指示に従い操作します。
3. アンインストールの終了と表示されたら「完了」を選択してください。

タッチパネルドライバについて

本モニターのタッチパネルは、タッチパネルデバイスマネージャを使用して設定します。

タッチパネルデバイスマネージャは、以下のいずれかの方法で起動できます。

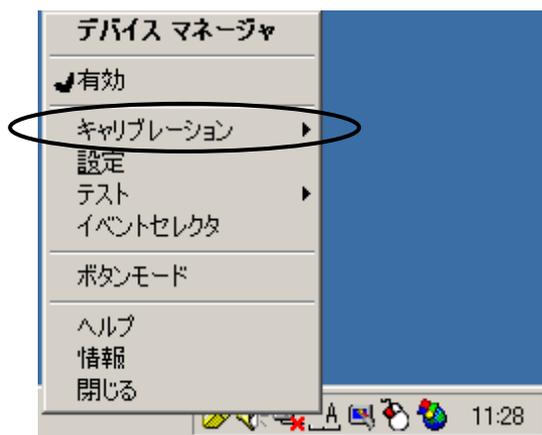
1. 「スタート」 - 「プログラム」 - 「UPDD」 - 「動作設定」を選択する。
2. タスクトレイのアイコン（図の 参照）をクリックする。



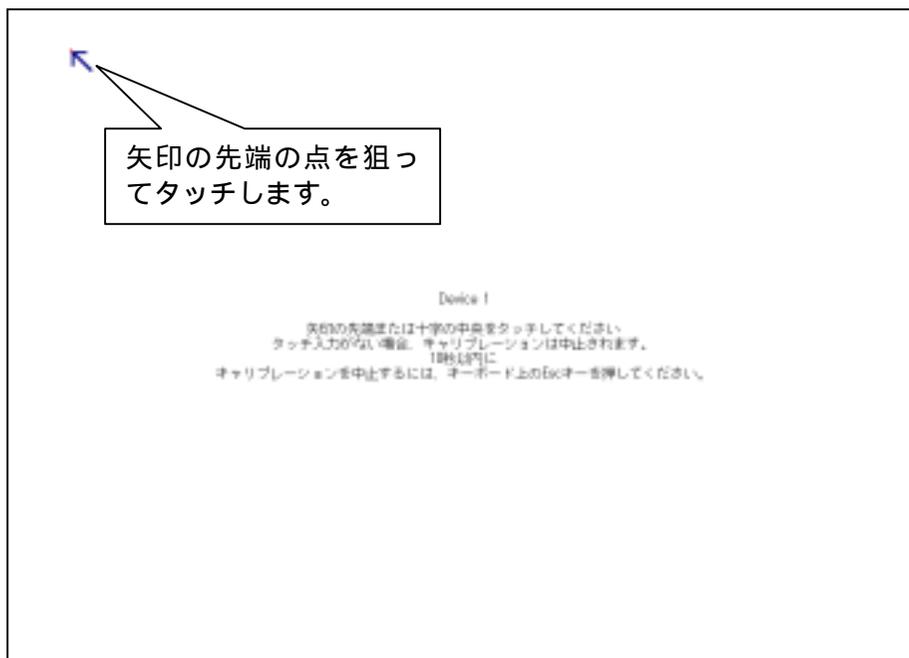
キャリブレーション

タッチ位置の補正を行います。ドライバインストール直後は、タッチ位置が正しくありません。インストール直後はタッチ位置の補正を行ってください。このタッチ位置の補正をキャリブレーションといいます。

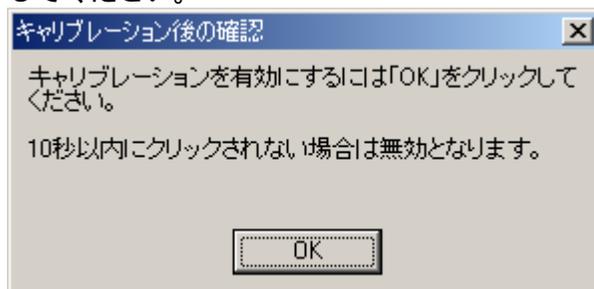
タッチパネルデバイスマネージャよりキャリブレーションを選択します。



「キャリブレーション」を選択します。画面に表示される点（4個）を順にタッチしていきます。



4回、矢印の先端をタッチすると、「キャリブレーション後の確認」が表示されるので「OK」をクリックしてください。



< 留意点 >

- 実際にご使用になる視線（立った状態、座った状態等）でキャリブレーションを実施してください。
- 2箇所以上同時にタッチしないようにご注意ください。

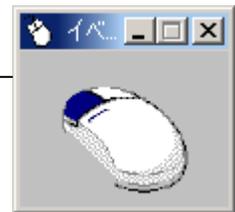
 **注意**
一般的注意

釘や針等、先が硬く尖ったもので画面をタッチしないでください。タッチパネルを傷つけたり、故障の原因となることがあります。

マウス操作

- クリック、ドラッグ操作
マウスのクリック、ダブルクリック及びドラッグなどの基本操作は、タッチパネルでは次のように行います。
 - クリック : タッチパネルをタッチし、離します。
 - ダブルクリック : タッチパネルを素早く2回タッチします。
 - ドラッグ : アイコン、ウィンドウのタイトルバーをタッチし、タッチしたまま指(或いはペン)を移動させます。
- マウスの右クリック
タッチパネルでは、マウスの様に2つのボタンはありませんのでタッチパネルで右ボタン操作を行いたい場合は、次のように操作します。
タッチパネルデバイスマネージャから[イベントセクタ]を選択します。マウスの絵が描かれた小さいウィンドウが表示されます。マウスの絵をタッチするたびに紺色のマウスボタンが切り替わりますが、このボタンがアクティブボタンとなり、このアクティブボタンが直後にタッチパネルにタッチしたときの、マウスボタンの動作となります。

イベントセクタ
を選択すること
によって表示される
ウィンドウ



機能設定

タッチパネルは、標準の設定では通常のマウスと同様な環境を提供しますが、柔軟なカスタマイズ機能を利用することにより、特定用途にあわせた操作環境を容易に作り出すことができます。ここでは、各設定をおこなう[動作設定]の説明をします。

A:動作設定画面起動

下記の何れかの方法により起動を行います。

1. 「スタート」 [プログラム(P)] [UPDD] [動作設定]を選択、起動します。
2. タッチパネルデバイスマネージャから[設定]を選択、起動します。

『タッチパネルドライバ プロパティ』ウィンドウが現われ、画面はいくつかのタブによって分けられています。このタブは設定目的別に分けられており、コントローラの追加は[デバイス]タブ、コントローラの状態確認は[状態]タブ、キャリブレーションに関する内容は[キャリブレーション]タブというように、行いたい内容ごとに一つの画面にまとめられています。

設定を変更した場合、必ず「適用(A)」ボタンを押して変更した内容を適用させてください(「適用(A)」ボタンを押すと、コントローラの再初期化を行いますのでタッチパネルが数秒間反応しなくなります)。

B:デバイス

コントローラの追加、名称変更、タッチ操作エリア設定、コントローラの削除を行います。

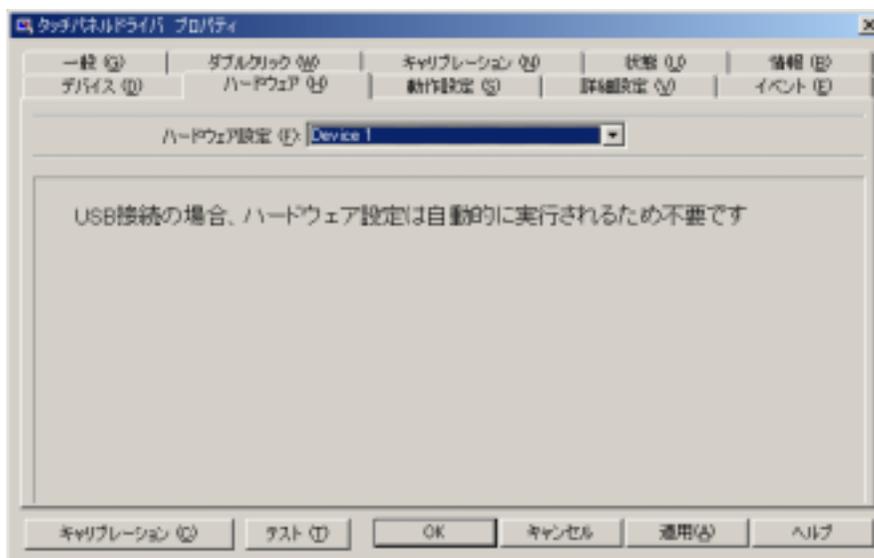


- **追加:** コントローラの追加を行います。追加を行う際、[DMC TSC-10 Series, Serial]、[DMC TSC-10 Series, USB]の選択、操作対象を画面全体にするか、或いは右半分、上半分といったような範囲設定、及びデバイスの名前を設定します。
- **変更:** コントローラの名称、操作対象の変更を行うことができます。
インターロックモード：
マルチタッチパネル時のユーザーレベルを設定します。
 - アドミン : いつでも操作が行えるユーザーです。タッチパネルが操作中でも割り込むことができます。
 - インターロック: 他に使用しているユーザーがいない場合、いつでも操作が行えるユーザーです。他に使っているユーザーがいる場合は、他のユーザーがRelease time 設定により使用権を放棄された後使用することが出来ます。タッチパネル操作中、アドミンユーザーが他のタッチパネルを操作すると、自動的に使用権は放棄され、以後アドミンユーザーが使用権を放棄するまで、タッチパネルを操作出来ません。
- 無効 : このユーザーは、タッチパネルを操作出来ません。

- Release time: インターロックモードで設定したアドミン又はインターロックユーザーが、操作終了後(タッチパネル入力終了)、タッチパネルの使用権を放棄するまでの時間設定です。(100 2 秒)
- 削除: コントローラの削除を行います。削除するコントローラをクリックし、選択してから「削除」を実行してください。
- Id: USBコントローラ使用時にデバイスタブに表示されるIdはコントローラ毎に設定されるタッチパネルIDを表します。このIDはタッチパネルIDが0ならばIdに0、1ならばIdに1と表示されます。この設定は本ソフトウェア上で変更することはできません。シリアルコントローラ使用時には何も表示されません。
- ポート: シリアルコントローラの場合、接続されているCOMポートが表示されます。USBコントローラの場合、Windowsから自動で割り振られるアドレスが表示されます。
コントローラが使用不可能であるとき、そのコントローラの項目は赤字で表示されます。

C:ハードウェア

[デバイス]でインストールされているコントローラの、通信設定を行います。[DMC TSC-10 Series, USB]では一切の設定を行う必要はなく、自動的に設定されます。



- COMポート：接続するシリアルポートの番号を設定します。
- 自動検出：チェックをオンにしていると、Windows 起動時、接続しているシリアルポートを自動的に検出します。

D:動作設定

タッチパネルにタッチしたときの、操作感に関する設定を行います。項目によっては[イベント]、[ボタンモード]と連動して機能します。



- クリックタイム：[イベント]で[タイム~]を指定している場合、タッチしてからクリック動作するまでの時間を設定します。
- タップタイム：[イベント]で[タップ~]を指定している場合、2回目のタッチをクリックと見なすまでの有効時間を設定します。
- リフトオフタイム：[リフトオフパケットの使用]をOFFにしている場合にタッチパネルをタッチした指を離してから、離れたと見なすまでの時間を設定します。
- 安定化：カーソルが一定位置に留まろうとする作用の度合いを設定します。タッチ入力位置の移動量が一定量を超えるまでカーソルは移動しません。初期設定は0で安定化作用は働きません。設定値を大きくする程、安定化作用が働きます。
- 平均化：カーソルが一定位置に留まろうとする作用の度合いを設定します。[安定化]と異なる点は、[安定化]はタッチ位置の移動量が一定量を超えるまでは、カーソルは同じ位置から移動しませんが、本項目は設定値により、タッチ位置に緩やかに移動します。初期設定は0で平均化作用は働きません。設定値を大きくする程、平均化作用が働きます。
- リフトオフパケットの使用：チェックをオンにすると、タッチした指を離れたとき、すぐに離れたと見なします。文字入力するときはチェックしないで下さい。ドラッグを多用するアプリケーションではチェックを外すと操作が安定する事があります。

E: 詳細設定

本ソフトウェアが提供する機能の詳細な設定を行うことができます。詳細設定はタッチパネルの機能に精通している方以外は変更しないで下さい。

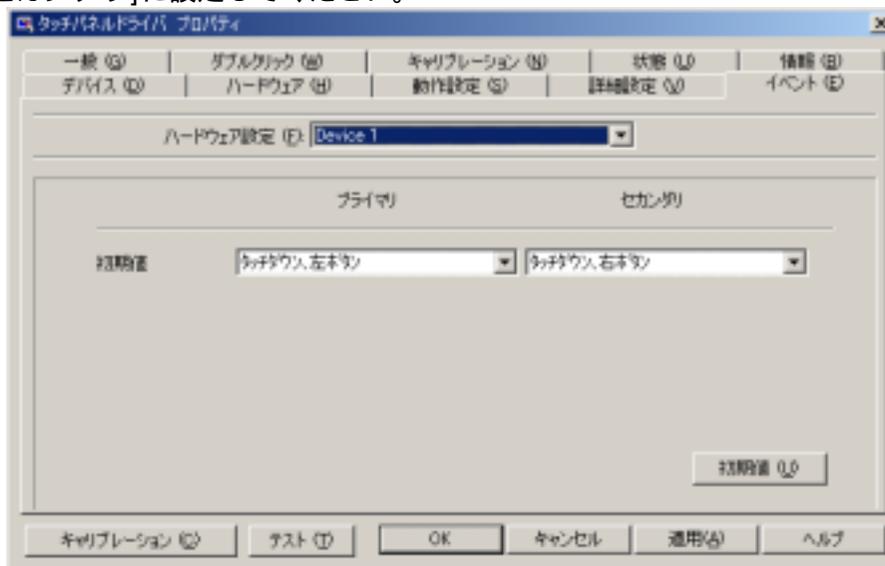


- サウンド間隔：クリック音の周波数を設定します。設定値が大きいほど、音が高くなります。
- サウンド長：クリック音の長さを設定します。設定値が大きいほど、クリック音が長くなります。
- サウンド：クリック音のON/OFF を行います。

その他の項目は設定を変える必要はありません。

F: イベント

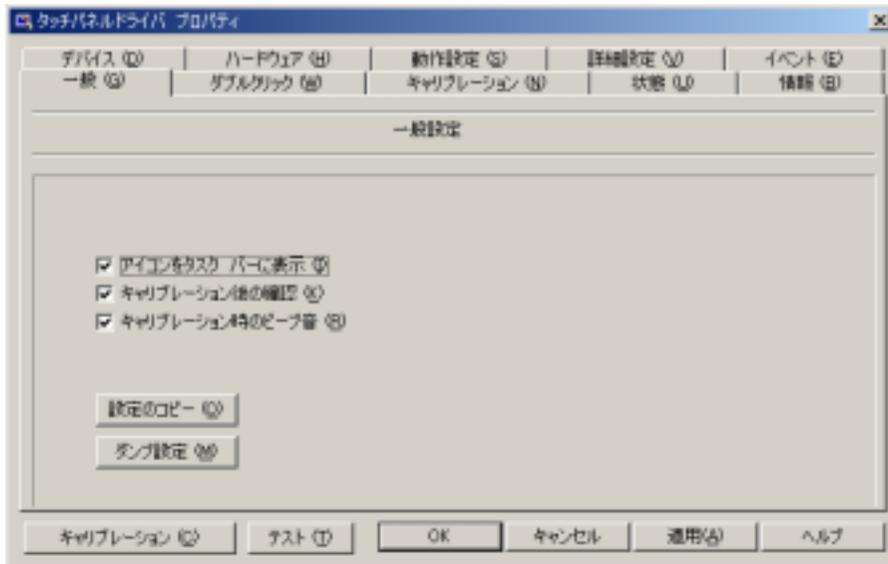
タッチパネルをタッチしたときの機能を選択します。標準では[プライマリ]の設定がタッチ操作に適用されます。[セカンダリ]の設定を使用するには、[イベントセクタ]でマウスの絵又はテキストをクリックし、右ボタンをアクティブ、又は[セカンダリ]に設定してください。



- タッチダウン~ : 1回目のタッチでマウスボタンクリックを行います。
- タップ~ : 1回目のタッチではマウスカーソルの移動を行いますが、クリックはせず、2回目のタッチでクリックを行います。1回目のタッチと2回目のタッチの許容時間設定は[設定] [タップタイム]で行ってください。
- タイム~ : タッチ時、タッチ位置が安定(カーソルが停止)するまではクリックを行いません。カーソルが停止してからクリック動作するまでの時間は[設定] [クリックタイム]で行ってください。
- リフトオフ~ : タッチしたとき、カーソルの移動は行いますがクリックはしません。タッチした指を離れたときにクリック、又はダブルクリック動作を行う場合に使用します。

G:一般

本ソフトウェアの基本的な動作設定を行います。ほとんどの場合、標準設定を変更する必要はありません。



- アイコンをタスクバーに表示：タスクバーへアイコン表示を行うか否かを設定します。
- キャリブレーションの確認：キャリブレーション終了後、キャリブレーションデータを保存するかどうか確認するダイアログボックスを表示するか否かを設定します。
- キャリブレーション時のピープ音：キャリブレーションポイントをタッチしたとき、入力されたことを確認するための音を鳴らすか否かを設定します。
- 設定のコピー：現在使用している環境を、ドライバの再インストール時に再現したい場合に使用します。本ボタンをクリック後、
C:\Program Files\UPDD\upddclon.regが作成されます。インストーラ「setup.exe」と同じ階層に「updd_ext」フォルダを作成してください。そして、この「updd_ext」フォルダ内に「upddclon.reg」を入れてください（updd_ext\upddclon.reg）。この状態で「setup.exe」を起動すると、「upddclon.reg」が適用されます。
- ダンプ設定：各設定をダンプするために使用します。ダンプされるディレクトリはOSにより異なります。

H:ダブルクリック

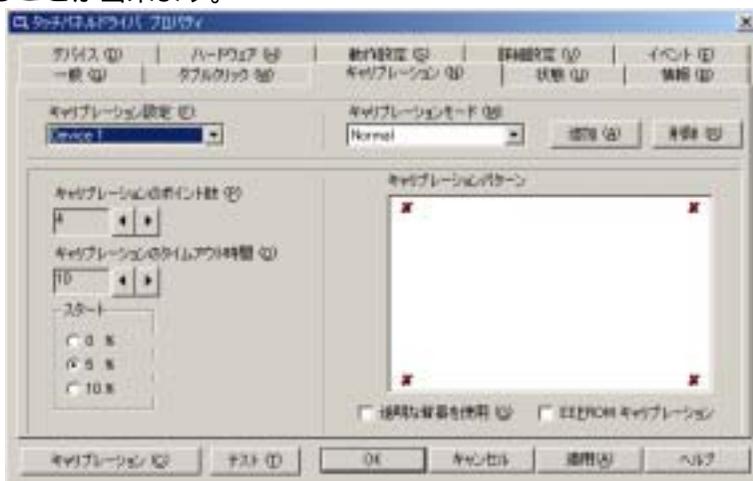
ダブルクリックに関する設定を行います。



- **時間**：1回目のタッチから2回目のタッチまでの許容時間を設定します。設定値が大きいくほど許容時間は長くなります。
- **高さ**：2回目にタッチしたとき、1回目のタッチと同一位置と見なす上下方向許容値のドット数を設定します。あまり小さく設定するとダブルクリックが難しくなりますので注意してください。
- **幅**：2回目にタッチしたとき、1回目のタッチと同一位置と見なす左右方向許容値のドット数を設定します。あまり小さく設定するとダブルクリックが難しくなりますので注意してください。
- **クリックテスト**：設定後の動作確認に使用します。シングルクリックテストには[シングルクリック]アイコンを、ダブルクリックテストには[ダブルクリック]アイコンをクリックしてください。

I: キャリブレーション

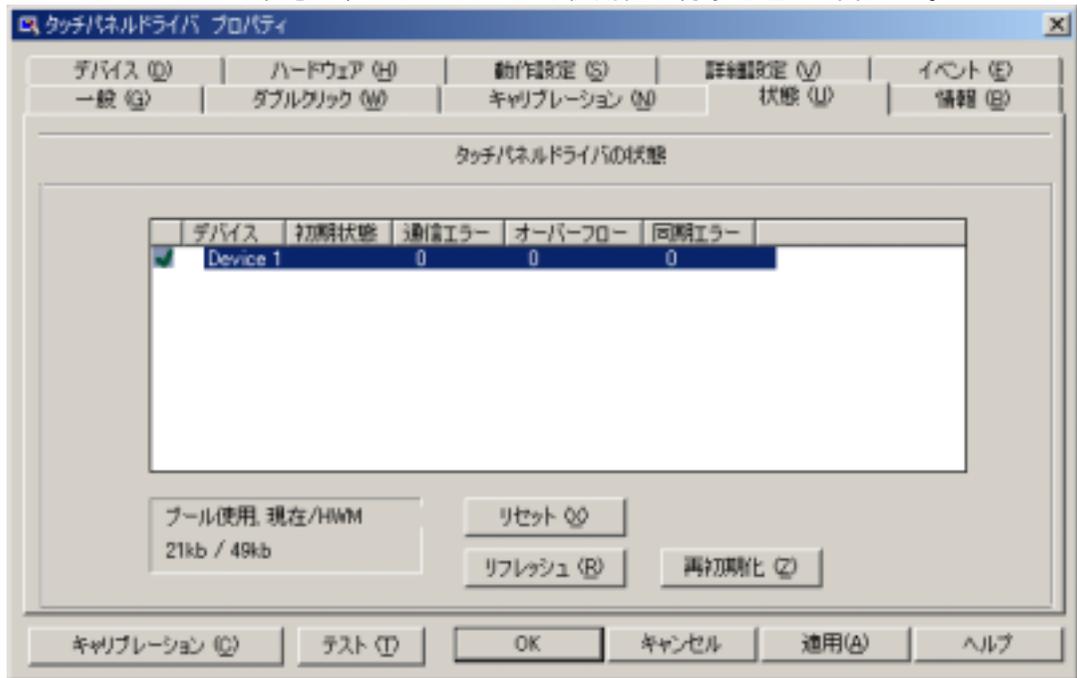
キャリブレーションに関する設定を行います。キャリブレーションは複数の設定を持つことが出来、設定ごとに補正ポイント数、タイムアウト値など各設定項目を変えることが出来ます。



- キャリブレーション設定：デバイスにリストされているコントローラが複数ある場合は、ここで、キャリブレーションを行うコントローラを選択してください。
- キャリブレーションモード：[キャリブレーションモード]にモードを追加することにより、キャリブレーションデータを複数もつことが出来ます。「追加」ボタンでモードの追加、「削除」ボタンでモードの削除を行います。
- キャリブレーションポイント：キャリブレーションポイント数を設定します。標準では4ポイントですが、必要に応じて2～25ポイント間で設定することが出来ます。
- キャリブレーションタイムアウト時間：キャリブレーション時、キャリブレーション画面が表示されてからしばらくタッチしないしているとタイムアウトになりますが、このタイムアウト値の設定を行います。標準では10(10秒)に設定されています。必要に応じて最大、60(60秒)まで設定することが出来ます。
- スタート：キャリブレーションポイント位置を設定します。画面の4隅が0%で、数値が大きい程キャリブレーションポイントは画面中心に近い位置になります。標準で5%になっています。
- 透明な背景を使用：チェックをオンにすると、キャリブレーション画面の背景にデスクトップを表示させることが出来ます。
- EEPROMキャリブレーション：チェックをオンにすると、キャリブレーションデータの保存場所がEEPROMになります。又、この機能をオンにするとキャリブレーションポイント位置(スタート)を変更できなくなります。

J:状態

コントローラの状態や、コントローラの初期化を行うことができます。



- 再初期化：コントローラの再初期化を行います。
- リセット：[初期状態]を最新の表示にリセットします。
- リフレッシュ：[通信エラー]、[オーバーフロー]、[同期エラー]の値をクリアします。

K: イベントセレクタ

イベントセレクタを使用することにより、マウスボタンの左クリック、右クリックを切り分けて使用することが出来ます。

1. イベントセレクタの起動方法

「スタート」 [プログラム(P)] [UPDD] [イベントセレクタ]を選択し、起動します。又は、タッチパネルデバイスマネージャの[イベントセレクタ]を選択し、起動します。



2. 各設定

イベントセレクタの設定は、ウィンドウ左上の小さいマウスの絵を右クリックし、表示されたメニューを選択することで行います。



- ・アイコン(小) : マウスの絵の大きさを小さく表示します。
- ・アイコン(中) : マウスの絵を標準の大きさで表示します。
- ・アイコン(大) : マウスの絵の大きさを大きく表示します。
- ・テキストモード : ウィンドウ中の表示をテキストで表示します。
- ・1クリックモード : 右クリック設定を、1回のタッチのみ有効にします。

L: ヘルプ

本ソフトウェアに関するヘルプが表示されます。

- ヘルプの起動 : 『タッチパネルドライバ プロパティ』ウィンドウ内のヘルプボタンを押し、起動します。又は、タッチパネルデバイスマネージャから[ヘルプ]を選択し、起動します。

CHAPTER5 お手入れ

本モニターを美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングを行う事をおすすめします。

清掃方法：やわらかい布を中性洗剤でしめらせ、しぼった後で汚れをふき取ってください。
その後、乾いた布で中性洗剤を拭き取って下さい。

除菌方法：『シヨードック(白十字株式会社製)』又は、シヨードック相当の成分の除菌剤等を使用してください。

また、除菌剤を液体のまま直接吹きかけることは避けてください。除菌剤を布剤等に染み込ませて使用してください。

シヨードックの液成分

液成分	エタノール(78vol%)
	塩化ベンザルコニウム
	精製水

注意：

- ・ クリーニングの際には溶剤や薬品を使用しないで下さい。本モニターを痛める原因となります。
- ・ 中性洗剤を使用する場合、直接本体にかけないで下さい。液体が本モニター内部に侵入し故障の原因となります。
- ・ クリーニングの際には電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

CHAPTER6

トラブルシューティング

本モニターをご使用中、おかしいと思ったことや分からないことがあった場合の対処方法について説明します。

こんなときは...

電源が入らない、もしくはTVが映らない。

- ・ ACアダプタのプラグがコンセントに接続されているか確認してください。
- ・ 課金機にカードが接続されているか、もしくは課金機に残度数があるか確認してください。
- ・ 本機のパソコンLEDを確認してください。パソコンLEDがオレンジに点灯している場合、入力切替ボタンを押してTVモードに切替えてください。

チャンネルが変更できない。

- ・ リモコンが本機に接続されているか確認してください。

その他、本モニターの動作がおかしい

何か新しい周辺機器を接続した場合は、その装置を取り外した状態で再度確認してください。それでも正常に動作しない場合は、設置場所のシステム管理者までご連絡ください。

仕様

構成		詳細	備考	
モニター部	表示機能	パネルサイズ	15 インチ LCD	
		解像度	1024 × 768(XGA)	
		表示色	1619 万色	
		輝度	TYP:250cd/m ² 以上(LCD のみ)	
		視認角度(CR>10)	TYP:上下、左右とも 170 °	
		コントラスト	TYP:400:1 以上	
	TV チューナー内蔵		受信方式:NTSC 受信チャンネル VHF1~12ch,UHF13~62ch,CATV C13~C63	
	タッチパネル		抵抗膜 4 線式(透過率 80%以上)	当社指定の消毒等のメンテ可 防紋タイプ
	操作ボタン		入力切換ボタン モニター電源ボタン	
	ステータス LED		パソコン電源(緑,橙) TV 電源(緑)	
外部インターフェース	リモコン専用ポート		MD コネクタ 9 ピン	
	RGB 入力		ミニ D-SUB 15 ピン メス	
	アンテナ入力		F 型端子 × 1(NTSC) VHF/UHF 75	
	ビデオ入力		VIDEO × 1(RCA)	
	音声入力		R × 1,L × 1(RCA)	
	課金インターフェース		SM ナイロンコネクタ 4 ピン	
	USB(A プラグ)		USB2.0 コネクタ 4 ピン × 2	
	USB(B プラグ)		USB2.0 コネクタ 4 ピン × 1	
	LINE IN		3.5 ステレオピンジャック	
	LINE OUT		3.5 ステレオピンジャック	
電源	入力電圧/周波数		AC100V 50/60Hz	
	入力コンセント		平行 2P	
	DC ケーブル長		1.8m	
	AC ケーブル長		2.0m	
	外形寸法		51(W) × 28(D) × 127(H)	
消費電力		Max45W(TYP:30W)以下		
モニター本体外形寸法 W × D × H		400(W) × 96(D) × 340(H)		
重量		4.2kg +0%, - 10%		

構成		詳細	備考	
リモコン部	有線式リモコン	電源ボタン	モニター電源ボタン(ON/OFF)	
		チャンネルボタン	チャンネル Up, Down	
		音量ボタン	音量 +, -	
		ファンクションボタン	F1,F2	
		TV/PC 切換ボタン	入力切換ボタン	
		十字ボタン	カーソルボタン	
		スピーカー	1W × 1	
		イヤホンジャック	3.5 ステレオピンジャック	カバー付
		リモコン外形寸法 W × D × H	52(W) × 22(D) × 162(H)	リモコンフックを含めて 201(H)
		重量	0.25kg 以下	
	リモコンコード長	2m(ストレート)		
共通仕様	使用環境	温度:5 ~35 湿度:20~80%RH		
	保存環境	温度: - 10 ~60 湿度:20~80%RH		
	取得規格	VCCI Class B		
	備考	VESA 規格(100mm)準拠		

対応解像度及びリフレッシュレートについて

解像度	リフレッシュレート (Hz)	同期極性 (H/V)
VGA 640×480	59.94	+, - / +, -
	72.809	+, - / +, -
	75.000	+, - / +, -
SVGA 800×600	56.253	+, - / +, -
	60.317	+, - / +, -
	72.188	+, - / +, -
	75.000	+, - / +, -
XGA 1024×768	60.004	+, - / +, -
	70.069	+, - / +, -
	75.029	+, - / +, -
VGA-text 720×400	70.087	- / +
VGA-text 640×350	70.087	+ / -

お問い合わせ先

本製品のハードウェアおよびソフトウェアのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

注意

ご購入元の販売店様により、各種の調整が施されている可能性があります。その為、直接弊社へご連絡いただく前に、まずはご購入元の販売店様（またはシステムご担当者様）へご連絡いただき、指示を仰ぐことをお勧めいたします。

〒206-8555
東京都稲城市矢野口 1776 番地
富士通フロンテック株式会社
販売推進統括部 販売推進部
Tel : 042-377-0445 (直通)

または、弊社ホームページの「お問い合わせ」よりご質問ください。

<http://www.frontech.fujitsu.com/>

廃棄について

当製品には、バックライト用蛍光管において水銀及び水銀化合物が使用されています。危険防止のため、下記の事項を厳守してください。

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。当製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行います。

廃棄のお問い合わせ/申し込みは（<http://www.frontech.fujitsu.com/eco>）の富士通フロンテックリサイクルシステムを参照ください。

当社では1998年より、法人・企業のお客様から廃棄される装置を「富士通フロンテックリサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

保証（無償修理）について

- 本製品の保証期間は、ご購入元の販売店様にご確認ください。
- 保証期間内において正常な使用状態で万一故障した場合は、無償で修理いたします。
- 保証期間内においても、天災や無理なご使用による故障の場合は有償修理となります。あらかじめご了承ください。

保守（有償修理）について

[製品保守対応期間]

- ・ 保守対応期間：保守対応期間は、お客様のご購入後5年間です。
- ・ 本製品を安定してご使用になれる期間は、1日15時間/月当たり450時間の動作で5年が目安です。
これは、使用環境温度が25℃、湿度20～80%(RH)を想定した期間であり、お客様における本製品のご使用環境などにより変動いたします。
- ・ 本製品を安定した状態でご使用いただくために、周囲温度5～35℃/湿度20～80%(RH)の動作範囲を守ってください。設置環境や使用頻度などにより、本製品を動作範囲外で使用された場合、安定した状態を維持できないことがあります。
- ・ 本製品の保守部品の供給期間は、製造打ち切り後6年間とさせていただきます。

[その他]

- ・ 保守契約については、ご購入元の販売店様、あるいは弊社までご相談ください。
- ・ 保守修理のご依頼は、ご購入元の販売店様までご相談ください。

ベッドサイド・モニター
ハード・ソフトウェアガイド
FTHST01
KD02010-L229
発行日： 2005年6月 第2版
発行責任者： 富士通フロンテック株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全の注意を払って作成いたしましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 本書の無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取替えいたします。



このマニュアルは、再生紙を使用しております。